

平成23年度 尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議会議録
ー公開プレゼンテーションー

1 開催日時

平成23年6月25日(土)

開会：午前9時30分 閉会：午前11時45分

2 開催場所

尾張旭市渋川福祉センター 研修室

3 出席者(敬称略)

【候補選定会議候補選定員(以下「候補選定員」という。)】

伊藤 雅一 学校法人菊武学園 名古屋産業大学 学長

中尾 さゆり 特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ 相談事業部長

加藤 雄二 市民生活部長

野村 孝二 財政課長

【申請団体】

瑞鳳連合自治会

山の手自治会

大塚町自治会

本地ヶ原連合自治会

旭前ハイツ自治会

東栄町二丁目町内会

【事務局】

前田 幸三 市民活動課長

三浦 明美 市民活動課コミュニティ係長

大東 恭子 市民活動支援センター副主幹

三浦 勝之 市民活動課コミュニティ係主査

森重 雄太 市民活動課コミュニティ係主事

4 会議概要

開会あいさつ・候補選定員紹介

申請事業プレゼンテーション・質疑応答

候補選定結果発表

候補選定員講評

質疑応答

閉会あいさつ

5 申請事業プレゼンテーション・質疑応答

瑞鳳連合自治会 瑞鳳校区防犯パトロール隊『瑞レンジャー』

伊藤候補選定員	この瑞レンジャーは、自治会等活動促進助成制度が始まる以前から先進的に取り組んでいる事業であり、この助成制度にも今年で3年目の申請になります。この3年間で瑞レンジャーへの参加者がどれだけ増えたか、そして、今年特に充実させたい取り組みがあれば教えてください。
瑞鳳連合自治会	隊員は現在150名以上になりました。今年の取り組みとして、反射タスキに名前を入れ、皆さんが気楽に歩いていただけるようにします。この事業は、犬の散歩や夜の散歩時などに気楽に歩いていただくがモットーなので、より大勢の方が気楽に歩いていただけるようにしたいと思います。また、青パトは17台、ドライバーは20名いますが、誰かが何処かで地域を回っている形にすることで、防犯の抑止に繋がると考えています。
野村候補選定員	この事業に対する地元住民の認識度が高まっていると思いますが、地元住民の認識度についてどのようにお考えですか。
瑞鳳連合自治会	認識度をはかったことはありませんが、パトロールをしていると、「ご苦労様です」と声をかけていただくことも多いことから、事業の認識度は高く、皆さんから喜ばれていると感じます。

山の手自治会 山の手地域自主防災組織体制整備事業

中尾候補選定員	大変総合的な取り組みですが、モデルとした地域があれば教えてください。また、災害には地震や火事など多くの事象がありますが、特にこういった災害を想定しているのかを教えてください。
山の手自治会	特にモデルとしたものではありません。行政が示す地域防災計画はありますが、それだけでは災害時に足りないため、常に地域で様々な災害に対する意見交換や議論をすることで、この計画をつくっていきたいと考えています。
加藤候補選定員	240人の高齢者の方がおみえになるとの話がありましたが、高齢者や障がい者など要援護者について、現時点での地域の実情を教えてください。また、山の手自治会で作成している地域の防災マップについて教えてください。
山の手自治会	防災マップは、市役所から配られる防災マップで不足する情報は地域で入れようと考え、例えば消火器、消火栓などの情報を加えて地域に全戸配布しています。また、要援護者は、民生委員の調査情報を市の福祉部を通じて自治会長がもらい活用していますが、本当の地域防

	災は、この事業にある防災隣組をつくるのが肝心と考えています。
--	--------------------------------

大塚町自治会 大塚町【お助け隊】

伊藤候補選定員	この事業は助成制度３年目の申請になり、事業内容も１年目と比べ要支援者や家具転倒防止など広がっていると思いますが、今年度の新たな取り組みについてもう少し教えてください。
大塚町自治会	独居老人や老老介護生活者など、要支援者までいかない人についても、民生委員と協力しながら何らかの事業を進めていきたいと考えています。また、この事業を知らない人もいるため、地域の組長に積極的に話をして、お助け隊を活用してもらえるように取り組みたいと考えています。
野村候補選定員	お助け隊の会員は年々増えていますが、町づくりに資する会員数には、どの程度の人数が望ましいと考えていますか。
大塚町自治会	数値目標は具体的にはありませんが、月一度の清掃には、６０から７０の方が参加しています。また、クリーンキャンペーンには１２０から１３０の方に来ていただいております、環境維持活動には多くの方に協力をいただいております。

本地ヶ原連合自治会 本地ヶ原年末大掃除ウィーク

中尾候補選定員	事業計画書に、事業の目的で参画と協働とありますが、この事業で特に参加してほしい人は誰ですか。また、参加予定人数が５００人とありますが、参加の呼びかけや周知方法はどのように行いますか。
本地ヶ原連合自治会	多くの方に参加していただきたいので、地域の子ども会、婦人会、ソフトボールクラブに働き掛ける予定です。また、この事業を担当する私たち環境美化まちづくり委員会のメンバー５人が若いので、若い世代が自治会に参加できるように何か工夫をしたいと考えています。そして、６０歳の定年を過ぎた男性は、今まで働いていたことから自治会に興味を持っていない方が多く、そういった方が自治会に興味を持てるように、回覧やソフトボールクラブから協力をお願いしたいと思います。
加藤候補選定員	オリエンテーリングのチェックポイントはどこを予定していますか。また、現時点で参加協力をいただける企業・商店はありますか。そして、あいさつ運動の具体的な内容について教えてください。
本地ヶ原連合自治会	現時点では、国道３６３号線沿線の大きいお店に参加協力の依頼を行い、チェックポイント、飲み物、お菓子等を提供していただけることで話が進んでいます。また、あいさつ運動の内容ですが、ポイントでもらえる言葉を集めると「おはよう」の挨拶の言葉になる、チェッ

	クポイントで挨拶をするとポイントがもらえるなどを検討しています。
--	----------------------------------

旭前ハイツ自治会 東日本大震災被災地の状況調査・報告及びこれを活かした防災訓練の実施

伊藤候補選定員	旭前ハイツ自治会は、マンションのため他の自治会に比べ行事への参加率が低いとの悩みと課題があると思いますが、この事業への参加状況の見通しはどのようにお考えですか。
旭前ハイツ自治会	昔は自治会の加入率も高く、自治会行事の参加率も良かったのですが、最近が高齢化等により自治会加入率が 1/3 に満たない状態です。しかし、独り暮らしや高齢者の増加によって、あらためて自治会活動が見直されており、マンションの管理組合と協力して、防災訓練、大掃除、ラジオ体操の参加を呼びかけたところ多くの参加者がありました。今後も地道に呼びかけを行っていく事で、参加者を増やしたいと考えています。
野村候補選定員	被災地の状況を災害発生から復興までの記録を整えると思いますが、それらの情報を行政側に提供するなど、何かお考えがありましたらお聞かせください。
旭前ハイツ自治会	被災地へのボランティアバスツアーを利用する予定ですが、現時点では先ず行動することを考えています。

東栄町二丁目町内会 「情報共有」を進めて、町内の交流と協働を活発にする

中尾候補選定員	この事業に協力、参加をしたいと新たに考える方が、どのような形で協力、参加できるかを教えてください。
東栄町二丁目町内会	この事業に少しずつでも賛同してくれる人が出ることで、町内会の活動を見直し、活発にするきっかけ作りになればと考えています。
加藤候補選定員	町内会ニュースは町内会未加入の方には配布しますか。
東栄町二丁目町内会	全世帯に配布する予定です。

6 候補選定結果発表

瑞鳳連合自治会	Aランク	100,000円
山の手自治会	Aランク	100,000円
大塚町自治会	Aランク	100,000円
本地ヶ原連合自治会	Aランク	60,000円
旭前ハイツ自治会	Aランク	50,000円
東栄町二丁目町内会	Aランク	37,000円

7 候補選定員講評

野村候補選定員	瑞鳳連合自治会は、地域住民の不安解消に繋がる防犯活動を、気長に・気楽に・安全に、をモットーに、皆が参加しやすい形で行っていること、見回り時間によって色分けを行うことで誰もが分かりやすい工夫をしていること等を評価いたしました。この事業は3年目の申請となりますが、今後も継続してほしい事業です。 山の手自治会は、防災マップの作成や防災隣組づくりなど、発災に役に立つ取り組みを評価いたしました。また、自治会加入率が約99%であり、自助、共助を中心とした取り組みは、いざというときに役立つ素晴らしい事業と考えます。
中尾候補選定員	大塚町自治会は、3年目の申請ですが、お助け隊のメンバーが、発足時の3名から22名に増え、大塚町を良くしたいという地域の意識が感じられました。また、花壇の整備など誰でも参加しやすい継続的な取り組みのほか、今年度は要支援者や家具転倒防止といった新しい事業に取り組まれることについても評価いたしました。 本地ヶ原連合自治会は、今まで自治会活動にあまり見られなかった若い女性主体の取り組みであり、自治会活動の新たな広がりが期待できること、また、子ども会、婦人会、ソフトボールクラブなどの地域団体に加え、地域の商店の協力を得るなど実現性の高さを評価いたしました。
加藤候補選定員	旭前ハイツ自治会は、2年目の申請ですが、新しい取り組みとして、自治会員が東日本大震災被災地に直接行き、自治会定例会で報告することで自治会員の防災意識を高める、被災地で得た情報を防災訓練に反映させるなど、活かした情報を活用することについて評価いたしました。 東栄町二丁目町内会は、新しく会長になられた方が、防犯灯の管理について問題を感じた事がきっかけに、どの自治会等にもある事務引き継ぎについて取り組まれていることを評価いたしました。事業の公共性は高いですが、地域の協力や事業の発展性など課題はあると思いますが、取り組んでいただきたい事業と考えます。
伊藤候補選定員	全体の総評をさせていただきます。今年度は、申請事業6件のうち、継続3件、新規3件でした。継続事業は、事業内容が発展していること、新規事業も、東日本大震災関係や町内会の活性化など、それぞれ意欲的な取り組みが行われることがわかりました。 審査では、継続案件は、発展性などで評価が厳しくなり、新規案件は、活動実績や実現性で評価が厳しくなります。しかし、評価結果を他の自治会等と比較するのではなく、A評価ということは、皆さんが

	行う事業への期待が高いと考えます。また、今回のプレゼンは、すべての団体がパワーポイントを使うなどご苦勞もあったと思いますが、とてもわかりやすい内容であり、質疑に対する回答も適切でした。 この助成制度は3年目になり、一般的に3年で制度の見直しが必要となります。市はこれまでの成果を検証し、今後利用しやすい制度にすることをお願いします。 みなさんから提案いただいた事業は、地域活動のモデル事業となる活動であり、過去2年間の中間報告会では、自治会間の情報交流がとても活発でした。今回は、震災関係で新規事業の提案がありましたが、新たな地域課題が見つかり、新たな地域活動が必要となった時、この助成制度が地域活動を進める手助けになればと考えます。
--	--

8 質疑応答

参加者	この助成制度を活用して地域活動を行うことで、地域の共感を得る、地域がまとまるといった効果を考えています。しかし、今年度は申請事業数が少ないこと、プレゼンの見学者も少ないのが非常に残念でした。市内には、自治会等活動とは何か分からず困っている自治会等が多いと思いますので、そういった自治会等に声をかける、プレゼンに参加してもらう方法を考えてほしいと思います。
事務局	この助成制度は3年目であり、見直しの時期に来ています。今年度の申請件数が6件であることを真摯に受け止め、多くの方が利用しやすい制度の見直しを検討していきたいと考えます。